

# 研究紀要の書式について（令和4年度改訂版）

松山市中学校情報教育研究委員会

## 1 はじめに

令和3年3月12日に、文化審議会国語分科会から『新しい「公用文作成の要領」に向けて（報告）』があり、令和4年1月7日に文化審議会から『公用文作成の考え方（建議）』が示され、1月11日に内閣官房長官から新しい公用文作成について各閣僚に通知されたことは、記憶に新しいところです。

そこで、国の動向を踏まえながら松山市中学校情報教育研究委員会としても、研究紀要を必要に応じた書式で書き表すことが必要であると考えます。

## 2 改訂部分について

### （1）項目の細別と階層

ア 原則として、公用文の細別に準ずるが、記録・公開資料となるため、必要に応じて分かりやすい表記とする。

イ 半角のカタカナ細別は、用いない。

ウ （ ）の項目のあとは、1文字空けない。

エ 『（ ）や『 』等は、全角で記載する。

オ 箇条書きの場合は、『○』を用いる。

### （2）用紙の書式について

・ 用紙	A4単票 縦方向	・ 行数	48行*
・ 文字	横書き	・ フォント	MS明朝（欧文・ <b>数字も</b> ）*
・ 文字数	全角42字	・ サイズ	11.0P*
・ 余白	上下左右20mm		

## 3 改訂部分の具体例について

I	情報教育の推進について									
1	情報教育推進要綱									
(1)	研究内容									
	ウ	情報モラルやセキュリティに...								
	(ア)	USBの使い方								
	a	本校の事例								